

○●「とくだい通信」第79号○●

【世界初】デュアル光コムを用いたバイオセンシングに成功しました ほか



2023年9月30日発行



JR 四国主催の旅行企画コンペで総合科学部学生による旅行企画案が金賞・銀賞を受賞しました

○●「とくだい通信」第79号○●

【世界初】デュアル光コムを用いたバイオセンシングに成功しました ほか

●【世界初】デュアル光コムを用いたバイオセンシングに成功しました

本手法により、新型コロナウイルスのような新興・再興感染症ウイルスのみならず、がんを始めとした健康バイオマーカー、健康被害に繋がる食品や環境の汚染物質などの超早期検出が期待されます。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/51730.html>

●JR 四国主催の旅行企画コンペで、総合科学部学生による旅行企画案が金賞・銀賞を受賞しました

総合科学部の石井班による「藤の花×遊山箱！エシカルに#ヌン活」が金賞、同学部の上勝町チームによる「上勝で Learning journey!」が銀賞を受賞しました。なお今回企画されたプランは、来年の旅行商品として JR 四国から販売される予定です。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/51599.html>

●4 年ぶり一般公開の大学祭を開催します

学生のご家族の皆さまはもちろん、地域の皆さまもぜひお越しください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/51534.html>

●公開連続講義「徳島で観光まちづくりを考える」をイーストとくしま観光推進機構及び徳島県と共同開催します

全国の第一線で活躍中の観光地域経営の実務家や研究者を講師に招き、大学生と一般市民が共に学ぶ機会を提供します。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/51723.html>

●ビタミン D 受容体は細胞死を介した毛周期の進行に不可欠であることを発見しました

ビタミン D 依存性くる病／骨軟化症の一部でみられる脱毛症状を理解するうえで、重要な知見を得ることができました。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/51521.html>

●学生団体支援チャリティーイベント TOKUSHIMA UNIVERSITY GIVING CAMPAIGN 2023 を実施します

学生団体の日々の活動の様子を特設サイト上でアピールし、応援を募り、その票数や寄附によって活動資金を獲得するイベントです。詳細は大学ホームページでお知らせします。(10月7日予定)

開催期間：2023 年 10 月 23 日（月）～10 月 29 日（日）

////////////////////

～☆イベント情報～

○第 5 回オンラインびざん会

日時：2023 年 9 月 30 日（土）9 時 30 分～10 時 30 分

▽内容

- ・バイオイノベーション研究所（B I R C）ヴォルテックス棟について
バイオイノベーション研究所長 音井 威重
- ・Film Cycle Project：芸術的手法を取り入れたパーソナルメディアによるデジタルアーカイブ

総合科学部 准教授 佐原 理

- ・鳥人間コンテストに出場して

鳥人間プロジェクト代表

理工学部理工学科機械科学コース 2 年 横溝 建人

▽当日の参加 URL はこちら

<https://us02web.zoom.us/j/98730257768?pwd=VlNKUmhDczZUeE5JMjRNb3FuOUlZz09>

○次世代光講座 2023

日時：2023 年 10 月 7 日（土）9 時 30 分～12 時 30 分

▽内容

高校生、一般・専門技術職の社会人向けに、深紫外線、赤外線、テラヘルツ波で持続可能な未来を切り開くポスト LED フォトニクス研究所の総力を挙げて皆さまに送る講座です。ぜひご参加ください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/51403.html>

○第 40 回青藍会・医学科講演会

日時：2023 年 10 月 20 日（金）18 時～20 時

▽内容

- ・iPS 細胞を用いた神経再生

○●「とくだい通信」第79号○●

【世界初】デュアル光コムを用いたバイオセンシングに成功しました ほか

京都大学 iPS 細胞研究所長 高橋 淳 氏

・“世界初”に挑戦するということ

株式会社ビジョンケア代表取締役 高橋 政代 氏

<https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/51090.html>

○土曜ワークショップ ディーン・ボーエン探検隊

日時：2023年10月21日（土）10時～15時

▽内容

環境防災研究センターの職員から徳島市の防災についてレクチャーを受け、徳島県立近代美術館にて特別展ディーン・ボーエン展を鑑賞、文化の森周辺をフィールドワークし作品を制作します。

<https://art.bunmori.tokushima.jp/category/0007204.html>

○徳島大学病院ホスピタルギャラリーbe

武蔵野美術大学学生作品展 さなぎ+はっぱ 展

日時：開催中～12月23日（土）

▽内容

「さなぎ」と「はっぱ」をテーマに武蔵野美術大学基礎デザイン学科2年生が制作した作品を展示しています。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/docs/51516.html>

○第33回ガレリア新蔵企画展徳島大学薬学部創立百周年記念 長井長義と薬学部展

日時：2023年10月21日（土）～2024年3月9日（土）

▽内容

薬学部が百周年を迎えるにあたり、エフェドリンの発見者として知られ日本薬学の父と呼ばれる長井長義博士に関する薬学部の所蔵資料について公開するとともに、薬学部の百年の歩みと、薬学部の現況についてパネル等にて紹介します。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/gs/docs/51259.html>

////////////////////
//

～☆クラウドファンディング～

■睡眠中の歯ぎしり治療のためのメカニズム解明プロジェクト

挑戦者：病院かみあわせ補綴科 講師 鈴木 善貴

期間：2023年9月30日まで

○●「とくだ通信」第79号○●

【世界初】デュアル光コムを用いたバイオセンシングに成功しました ほか

睡眠中の歯ぎしりを安全に軽減・緩和し、“歯や顎の健康状態を維持し予防するため”、多チャンネル生体信号記録装置の周辺機器の刷新と、新たな顎運動測定器の製作費、またその測定にかかる費用に活用したいと考えています。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

<https://otsucle.jp/cf/project/16300.html>

■徳島大学常三島祭復活！4年ぶりのリアル開催へ向けての挑戦！

挑戦者：常三島祭実行委員会 委員長 石本 雄大

期間：2023年10月25日まで

今年はコロナウイルス感染拡大による限定開催からの脱却を遂げ、全員が一堂に会し、喜びを共有できる場へとステップアップします。皆さまからいただいたご支援は、常三島祭の企画や模擬店の諸設備設置費用、環境整備、看板等の製作、運営費として使わせていただきます。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

<https://otsucle.jp/cf/project/25516.html>

一般社団法人大学支援機構が運営する「Otsucle」では、様々なプロジェクトが立ち上がっています。本学の学生もクラウドファンディングに挑戦していますので、下記よりご覧ください。

<https://otsucle.jp/cf/>

////////////////////

～☆定例記者会見～

定例記者会見の様子を、YouTubeにて公開しています。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/kaiken/>

～☆研究成果報告～

本学の教員が行っている研究の成果をホームページにて報告しています。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/results/>

◇その他の最新情報はこちらをご覧ください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/information/>

.....

～☆各種 SNS 更新中！～

本学の情報をリアルタイムでお届けします。

ぜひ、フォロー、リツイート、「いいね！」等よろしくお願いいたします。

【X (旧 Twitter)】

○●「とくだい通信」第79号○●

【世界初】デュアル光コムを用いたバイオセンシングに成功しました ほか

https://twitter.com/Tokushima_Univ

⇒研究のトピックスからちょっとした小ネタまで、毎日更新中です！学生広報スタッフも活躍しています。

【Facebook】

<https://www.facebook.com/tokushima.univ/>

【Instagram】

https://www.instagram.com/tokushima_univ/

【YouTube】

<https://www.youtube.com/channel/UCNQE9dKoLma9eGrzFo2WvqQ>

～徳島大学基金への御礼～

2023年8月の1か月間に、計588名の皆さまよりご寄附をいただきました。心より御礼申し上げます。

賜りましたご支援は、本学の教育・研究活動のますますの発展のため、有効に活用させていただきます。

引き続き、本学の発展にご理解とご賛同をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/contribution/gratitude/introduction.html>